

日本フィルハーモニー交響楽団

木管五重奏演奏会

令和6年9月14日、大宮レイボックホールにて公演会を開催しました。
9月中旬とは思えない猛暑の中、215名の方々にご参加いただきました。



日本フィルハーモニー交響楽団は芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指されています。

お忙しい中、文化教養部からの2年も前からの依頼にも関わらず、快く引き受けていただきました。



素晴らしい演奏間に、それぞれの楽器紹介やファゴット奏者である鈴木さんのユーモアのあるMCがあり会場を魅了していました。

司会はアナウンス部2年生のお二人に担当していただきました。堂々とした司会ぶりに楽団の方々も感心されていました。



花束贈呈は吹奏楽部の生徒にお願いしました。

プロの演奏家を前にし、感激して涙ぐむ生徒もいました。

文化教養部はご出演いただく方を探すことから始まり、3年をかけて本番に至ります。同学年部員内でも何度も話し合いを重ね、演者さんとも度々交渉し、公演を成功させるため、精一杯頑張っています。

今回の公演会では至らぬ点もあったかと思いますが、アンケートでは素晴らしい時間を過ごせたとのこと感想もいただき、成功裏に終わることが出来ました。

ご協力いただきました全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責 文化教養部)